

福島ロータリークラブ会報

vol. 18

2018.12.13 thu



<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋7F【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

18-19年度スローガン「融和と進化」

本日の プログラム	新会員スピーチ	積水ハウス(株) 福島支店長 清水 太郎 会員
	「疾病予防と治療月間」にちなんで	福島第一病院 健康管理部検診部長 土屋 敦雄 会員

会長あいさつ



2018-19年度会長 浦部 博

今年も、あますところあと半月になりました。20日は「年忘れ家族会」となりますから、正式例会は今日が今年最後になります。みなさん年末の体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

このあと、新会員スピーチとして積水ハウスの清水太郎会員のお話と、「疾病予防と治療月間」にちなんで、土屋敦雄会員からスピーチを頂きたいと思います。

さて、今年の漢字は「災」ということになりました。西日本豪雨災害、21号台風、北海道地震と自然災害が続いて、被害に遭われた方々には改めて、心からお見舞いを申し上げます。自然環境の急激な変化は、これからますます加速すると考えなければなりません。

他にも仮想通貨問題、米中貿易摩擦、国内の混乱政治、ゴーン問題etcさまざまな事案が発生しています。まさに災いと混乱の年でありました。おだやかな「平成」の締めくくりとはいかないようですが…。

そして来年は、5月からは新しい年号に変わります。という年号になるのか未だわかりませんが、災害・不安・不正の負の連鎖が解消して、日本が安心・公正・好況といった「明るい社会に」立ち返ることを期待しますし、日本人ですから、きっと英知を合わせて新しく革新して行くのではないかと祈念しております。

一方、わたくしにとっては会報にも書きましたが、あつという間の半年であったと思います。想像の3倍ぐらいの忙しさがRCの会長だと悟ったところですが、しかし、これこそロータリーの求める「自己研鑽」だと考えて、自分の出来る限りは努力していきたいと思っております。

まだまだ年度の目標には道半ばですが、後半が勝負だ

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

ロータリーソング

「我等の生業」

ソングリーダー 渡邊又夫 会員



会長あいさつ

浦部 博 会長

米山功労クラブ 感謝状伝達

第33回米山功労クラブ

福島ロータリークラブ

相良米山記念奨学会委員長より浦部会長へ

食事

幹事報告

増子 勉 幹事

各委員会報告

■IT戦略・雑誌小委員会

*「友」12月号紹介 佐藤美奈子 小委員長



■プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

丹羽和也 小委員長



■本日のプログラム

閉会点鐘

浦部 博 会長

と考えております。等身大の運営になりますが、精いっぱい頑張ってまいりますので、あと半年、よろしくご協力をお願いいたします。

新会員スピーチ

積水ハウス(株) 福島支店長 清水 太郎 会員



この度は、このような機会を与えていただき誠にありがとうございます。

福島RCに入会させていただき早いもので7ヶ月が経過いたしました。

折角の機会ですので、私の事と積水ハウスの事についてご紹介させていただきたいと思えます。

【私の生い立ち】

私は1967年(昭和42年)秋田県秋田市保土野という所で生まれました。父親はゼネコン勤め、母親は結核を患っており、実は初めて両親と一緒に暮らしたのは幼稚園年長の時でした。母親の実家が秋田市土崎港という所で古くから続くお寺で私は寺の孫という事になります。その寺で3歳まで育ちました。その後、父親が転勤になるのですが小さい私を育てる人間がいない為父親の実家の山形に預けられ祖父母に育てられます。その後小学校に上がる少し前に母親の身体が良くなり仙台で暮らし始めます。

学生時代は小1から野球を始めました。友達の影響で東北には珍しい大の阪神ファンになり、現在に至ります。田淵幸一が好きで小学校ではキャッチャーをやっていました。世代として大魔神佐々木、桑田、清原と同期で、中学時代佐々木と対戦しました。記憶では2打席凡退に終わりました。

その後地元東北学院大学に進み、大学3年生の時、父親の影響でY'sメンズクラブで主催しているタイワークキャンプに参加しました。日本の大学生10名とタイの大学生10名が2週間生活を共にしながらボランティア活動をするものです。我々の時は、バンコクから車で4時間位行った舗装もされていないような村の小学校に貯水タンクとトイレを建設して来ました。その時のタイの学生とは今でも交流をしています。そういった意味ではロータリーの活動には大変共感できる所があります。

その後1990年4月に積水ハウス(株)入社。最初の赴任先が山形でした。

大変珍しいパターンですが、私は入社から23年山形支店で過ごします。そのまま現職を拝命し、その後仙台で5年、今回福島で約1年とご縁を持たせていただきました。

【積水ハウスの事】

当社積水ハウスは、1960年(昭和35年)積水化学工業(株)ハウス事業部が分離独立し、積水ハウス産業(株)を設立します。当時の世の中はダッコちゃん、ソニー世界初ト

ランジスタテレビ発売、カラーテレビ放送開始など高度成長期の真っただ中でした。

世の中では我々住宅会社の事を『プレハブ住宅』と呼びますが皆さんどういう意味だかお分かりになりますか?現場の仮設事務所のようなものを想像されると思うのですが実はプレハブ=プレファブ리케이션という言葉で、昔の大工さんのように現場で材料を作らずに、工場生産をした部材を現地に持ってきて組み立てる工法を言います。この後、そのプレファブメーカーが次々と創業して行く…そんな時代でした。

我々積水ハウスは業界では2番目に創業します。その頃から当社は様々な新しい事に取り組んできました。例えば業界に先駆けてメーターモジュールを採用、尺寸法が当たり前だった家造りに新しい風を起こします。又この頃販売開始されたアルミサッシを最初に採用したのが積水ハウスだと言われています。

その後1963年に現在の積水ハウス株式会社に商号変更します。

又この年に軽井沢の別荘地に建築された『山崎家・臼井家別荘』が、国産工業化住宅の第1号として国の有形文化財に登録されました(2016年8月1日)。

1970年に入ると多くの住宅メーカーが誕生します。その中の一つがセキスイハイムです。よく沢山の方から『積水ハウス』と『セキスイハイム』はどう違うの?と聞かれます。実は高度経済成長の波に乗って大和ハウスや当社が大きく成長したのを見て、積水化学工業が自社で作った住宅の販売会社として作ったのが『セキスイハイム』なのです。今は全くのライバル会社ですが設立時当社が技術協力をしています。

又1993年11月住宅業界初の100万戸を達成致します。(現在は240万戸超)

その後、1999年に世の中に向けて『環境未来計画』を発表するのですが、そこが当社のターニングポイントとなり、以来環境に大きく軸足を置くように舵を切る事になります。2002年には全工場でゼロエミッションを達成。2008年にエコファースト企業に選定(業界初)されます。洞爺湖サミットでゼロエミッションハウスを建設し、各国の要人の方々の注目を集めました。又2015年生物多様性条約第21回締約会議COP21に日本の民間企業として唯一賛同署名実施を致します。又東北では日本初のスマートグリッドによるエコタウンを宮城県の東松島に『東松島スマート防災エコタウン』として建設。国内外

の注目を集めました。そして昨年2017年に仙台で行われた国連防災会議での27ツアーの一つに当社の東北工場が選定され全体で2番目の来場を得ました。

この様にお陰さまで、住宅の専門会社として業界を牽引する立場になった当社ですが、現在は医療、介護、倉庫、工場、店舗、ビル、ホテル、面白い所では宿坊、道の駅などあらゆる建築を請け負っています。有名な所では、マリオットインターナショナルと組んでリッツカールトン京都や道の駅プロジェクト、各地の星野リゾートのホテル等を建築させていただいております。

又海外事業を『オーストラリア、アメリカ、中国、シンガポール』の4カ国で展開。2017年『世界で最も優れたビルディング』にオーストラリアの商業ビル(セントラルパーク)が選定され大変な名誉をいただきました。

2020年に60周年の節目を迎え、今後も世の中に喜ばれる企業として精進してまいりたいと思うと同時に、ロータリーの活動を通じて、個人そして企業としても世の中に貢献して参りたいと思っておりますので、今後とも末長く宜しくお願い申し上げます。

「疾病予防と治療月間」にちなんで

福島第一病院 健康管理部検診部長 土屋 敦雄 会員



生活習慣病の三大要素(高血圧、糖代謝異常、脂質代謝異常)が心血管疾患を引き起こし易いことから、メタボリック症候群の概念が生まれ、2008年から本邦において特定検診制度が始まりました。高血圧や糖尿病(2型)は、遺伝素因に加え、肥満、カロリーや塩分の多い食事、運動不足などの環境要因が加わることにより発症し易くなります。従ってこれらは生活習慣病と呼ばれます。糖尿病の場合、症状がないので放置しておく、致命的な合併症を起こすことがあります。

一方、癌は自分のDNA複製が正常に行われないうちによって引き起こすと考えられています。日本人は長寿になったことにより、増加している疾患です。日本人男性に多い癌について、簡単に図示しました。

生活習慣病や癌の予防には、基本的にはたばこを止めて、飲酒はほどほどに、高カロリー食を避け、体を動かすことが大切です。

皆さん、「飲み会」の後は“歩いて”自宅に帰るようにしましょう。



男性がんの死亡数

- 1位 肺がん
- 2位 胃がん
- 3位 大腸がん
- 4位 肝臓がん
- 5位 膵臓がん

「ロータリーの友」12月号のご紹介

IT戦略・雑誌小委員会 佐藤美奈子 小委員長

ロータリアンの皆さん
PRESIDENT'S MESSAGE
12月号のメッセージ

「The Rotarian」12月号の特集は、ロータリー100周年を記念して、若い世代ロータリー100「未来を担う若者の活躍」をテーマに、各地のロータリーで活躍する若手リーダーのインタビューや、各地のロータリーで活躍する若手リーダーのインタビューや、各地のロータリーで活躍する若手リーダーのインタビューです。

【注目記事】
●横組みP3
RI会長メッセージ
RI会長メッセージ
ロータリー年度の最初の7月号に掲載されたフラミンゴの群れの写真を引き合いに、群れとは逆を行くその1羽のフラミンゴこそ、ロータリーで私たちが行うべきことを見事に表しているといえます。そのフラミンゴは、

群れが向かっている方向が最善ではないかもしれない…。他にもっと良い別の道がないかと探してみる好奇心、勇気、信念がこの表紙は表しているといえます。

「知的好奇心に火を付けろ!」
子どもサイエンス実習
知的好奇心に火を付けろ! 子どもサイエンス実習
知的好奇心に火を付けろ! 子どもサイエンス実習

【注目記事】
●横組みP8~P13
特集 知的好奇心に火を付けろ! 子どもサイエンス実習
学習意欲を向上させるための理科系の教育支援。技術立国ニッポンの将来を見据えたロータリーの活動を紹介。

米山功労クラブ 感謝状伝達



第33回米山功労クラブ
福島ロータリークラブ
(相良米山記念奨学会委員長
より浦部会長へ)

例会プログラムのご案内

12月27日(木) 祝日の週の為休会

1月4日(金) 12:30 ~ 辰巳屋

福島市内ロータリークラブ 新年合同例会
ホスト：福島ロータリークラブ

1月10日(木) 4日の振替休会

1月17日(木) 祝日の週の為休会

例会変更のお知らせ

- 12/17(月) 福島西RC、18日(火) 福島北RC、21日(金) 福島東RC全て夜間例会に変更になっております。

その他のお知らせ

- 本日、午後6時より12月理事会がございます。宜しくお願い致します。
- 12/15(土) 桜の聖母高校にて新世代会議が開催されます。当クラブからは会長幹事、古俣会員、菅野裕一会員、今井会員、箱岩会員、IAC3名、RAC3名が出席致します。
- 来週12/20(木)は午後6時半より年忘れ家族例会になります。宜しくお願い致します。
- 12月ロータリーレートは1ドル112円となりますのでお知らせ致します。

私のひとこと
老年の美学



江花 亮 会員

昨今は人生論がトータルのライフスタイル的な見方が多くなり、老年の時期も人生には極めて大切な時期に位置づけられてきたようです。私も八十を超えた老年期の半ば過ぎた人生のフィニッシュタイムに至っております。論語に云う「心の欲するところに従い矩を躰えず」という年頃になったということになります。

例えば、ゴルフでナイスショットをしたつもりが、その飛距離の短さに“啞然”とした時とか、胸がときめくような写真や絵などを見ても男性としての力強さを感じなくなったり、“若さ”への郷愁を強くおぼえる瞬間であります。

その若さであります。先人の哲学者であるヘーゲル、ゲーテ、シラー、さらにはヴァン・デ・ヴェルデに至るまで異口同音に「美を追求する気持ちが若さを持続させる」と謳っております。この美を追求する気迫、美への憧れが一つのキーワードと言えそうです。

人間は誰でも、美を無縁のものとしておくことは出来ないと思われませんが、思索の対象としては取り上げにくいものです。しかし反面、そういう意味から美はいかなる場所にも見出すことが出来るものです。

「美」、美しいという日本語は、親密で肉親的な愛や可憐なものへの愛を表現するものであったと言われており、「美」と「愛」とはまさに不可分の関係にあると言えます。従って、人間は生まれながらにして、愛を求めようとして美をも求めます。そういう考え方に立てば、美の対象として異性を意識しなくなったら終わり、老いていくのみです。

かの有名なサミュエル・ウルマンは“青春とは人生のある時期をさすのではなく、心の様相をいうのだ”と言っております。この言葉を素直に納得しながらこの老年期をゆつくりと歩み、「美と愛」にこだわりを持ち、心の欲するままに歩み続けたいと思っております。

もちろん、“矩を躰えることなく”ですが。

ニコニコBOX 報告

本日のニコニコBOX投入額 22件 ¥44,000 累計¥904,000 [報告] 丹羽和也 小副委員長

浦部 博 会長

いよいよ今年も締めくくりとなりました。皆様のご協力に感謝して。

土屋先生のお話を楽しみにしております。清水太郎会員のスピーチも頑張つてね。

古俣 猛 会員

本日は理事会を訪問しますので、宜しくお願いします。先日私もいよいよ爺ちゃんになりました。幡先生大変お世話になり、ありがとうございました。

黒崎 浩一 会員

先週姪の結婚式に出席してきました。久々の結婚式でイベントの変化に驚きました。我が子ども達はまだ予定が無いようで…少々心配です。

中山 興 会員

先日青森に出張しました。キャッシュレス決済の導入な

どインバウンド観光客取り込みや六ヶ所村を見学し、福島への想いを胸に色々と考えさせられました。

佐藤 徹 会員

清水会員のスピーチ楽しみにしています。

幡 研一 会員

清水太郎会員のスピーチに期待して。

渡邊 又夫 会員

清水会員のスピーチを記念して。

清水 太郎 会員

本日は、新入会員スピーチさせていただきます。宜しくお願いします。

クラブ会員より 茂田士郎/大沼健次/佐藤英典/児玉健夫/菅野裕一/小原 敏/五阿弥宏安/丹治正博/後藤浩之/佐藤良智/高倉裕行/増子 勉/佐藤美奈子/丹羽和也